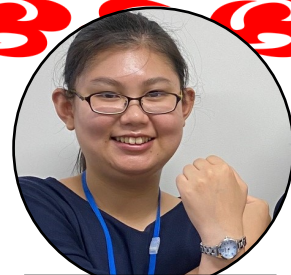


ふくしま ドキドキだより

Vol.18 発行:令和3年7月19日



担当：古川佳音

担当者のひとこと

先日セミが壁にぶつかりながら飛んでいるのを見ました。鳴き声が無かったのでおそらくメスかと思います。ようやく夏ですね。

こんにちは！ふくしまドキドキだよりです。
今号では、「市役所東側の懸垂幕にしゃがむ土偶登場！」や「街なか交流館にしゃがむ土偶レプリカ登場！」などの情報をお届けします♪

ドキドキ★納税課の懸垂幕にしゃがむ土偶登場！

7月の1か月間、市役所東側の懸垂幕に「しゃがむ土偶」が登場しています♪
「税金の口座振替」についてお知らせ中です。

お近くを通る際はぜひご覧ください！

納税課担当者(大崎さん、写真右)より
コメントもいただきました♪



懸垂幕にしゃがむ土偶が登場するのは今回で3回目となりました。
初めてコラボさせていただいてから約1年が経ち、すっかりしゃがむ土偶に魅了されています。今後もドキドキするような納税啓発広報ができるよう、努めてまいります！

↑2人ともそっくりな顔をしています、令和の“ザ・ピーナッツ”ではありません…(このネタ分かるかな?)
仲の良い土器…ならぬ同期です(*'▽')



街なか交流館にしゃがむ土偶登場！

福島市街なか交流館でしゃがむ土偶のレプリカが展示中！
お近くにいらした際はぜひご覧ください★
もちろん、本物のしゃがむ土偶に会いにじょーもぴあ宮畑にもぜひお越しください♪

【場所】福島市街なか交流館
(福島市栄町5-1 辰巳屋ビル2階)
【時間】午前10時～午後7時



←街なか交流館ホームページ

“わたしのお気に入り” vol.2

この連載は自分の「押し土器」や「押し土偶」を皆さんに紹介するコーナーです。
2回目は埋蔵文化財係の工藤麻未さんの「押し」をご紹介します♪

※「押し」とは:アイドル等のグループ内において、最も応援しているメンバーのこと。
今回は様々な土器や土偶の中からの「一押し」という意味で使用しています。



▲和台遺跡出土人体文土器
(縄文中期末)



▲和台遺跡で出土した土偶。
やはり人体文土器の
「ヒトガタ」と似ている！

わたしの推しは「縄文人を描いた土器“人体文土器”」。
え？工藤のおすすめは当然「しゃがむ土偶」でしょ？！と思ったあなた。そして、土偶じゃないんかい！と思ったあなた。そうなんです。私の推しは「人体文土器」。その名の通り、土偶と土器が一緒になっちゃったという土器なのです。

わたしにとっては、常識をくつがえされた土器。だって土器って、煮炊きに使われた器、縄文人にとって生活を維持するのになくしてはならないもの。

それなのになぜ「ヒト」？もはや絶句。

専門書によると、食の豊かさに感謝し、さらなる豊穡を祈った祭りなどに使われたのだろうと書かれていました。当時の人々は、みんなが元気で幸せに暮らせますようにと、土器に願いを込め、自然に感謝し隣の人と手をつないで生きていたんだろうなあなんて、3500年前に思いを馳せました。

★現在じょーもぴあ宮畑では、「人体文土器」のレプリカを展示しています。ぜひ直接ご覧ください♪

次回もお楽しみに♪

お詫び vol.16掲載情報について

vol16にて掲載の「じょーもぴあ宮畑グッズ新商品」ですが、都合により販売開始日が未定となりました。皆様にはご迷惑をおかけし大変申し訳ありません。発売日が決定次第、再度お知らせいたします。

今月のなぞなぞ

※今月も引き続きなぞなぞです。

Q. 春、夏、秋、冬、一年の中で最も長い日数はどれ？

☆答えは次号で☆

前号のなぞなぞ きたえ

Q. ねずみの家の大きさはどのくらい？

A. ちゅうくらい

(ねずみは「ちゅう」となくから)



←ドキドキだよりバックナンバーはこちら

作成・お問い合わせ先
福島市 文化振興課 埋蔵文化財係
TEL: 024-525-3785